

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

常に世界最高の技術をもって社会に貢献する

高付加価値品比率
60%粗鋼生産能力
2,100万トン京浜地区累積事業収支
1,000億円土地事業利益
100億円/年

② 中長期の経営戦略

1. 国内体制の徹底的なスリム化

高炉休止により粗鋼生産能力を2,600万トンから2,100万トンへ縮小。2028年度に西日本製鉄所倉敷地区で革新電気炉稼働、高炉5基＋電気炉1基体制へ

3. 海外トップパートナーとの事業拡大

JSWスチール（インド）・ニューコア（北米）とのインサイダー型事業推進。電磁鋼板やグリーン鉄源等技術優位分野に経営資源を集中

2. 高付加価値品の拡販強化

電磁鋼板・自動車用高張力鋼板・洋上風力発電用厚板等を拡販。高付加価値品比率を48%から60%へ引き上げ

4. サークュラーエコノミーの実現推進

エンジニアリング事業で多様なポートフォリオを活かし、気候変動問題の解決とサーキュラーエコノミー実現を通じた事業拡大

③ 対処すべき課題

① 厳しい事業環境への対応

- ・国内需要の減少に対応
- ・中国材の廉価輸出による市場混乱に対抗
- ・保護主義加速に備えた事業体質転換

② カーボンニュートラル実現

- ・低CO₂での高品質鋼材製造技術の開発
- ・GX対応技術と製造実力の融合
- ・カーボンニュートラル含む革新技術の商品化

③ 企業価値向上の実現

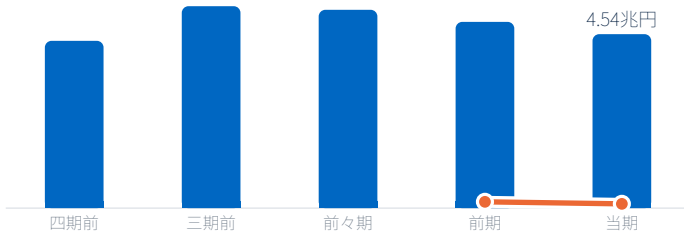
- ・PBRが1倍を大きく下回る現状の改善
- ・株主資本コスト以上のROE安定実現が課題

面接で使えるポイント

- ・JFEグループは鉄・エンジニアリング・商社3事業でシナジーを創出し、世界最高技術で社会貢献を目指す
- ・2027年度に高付加価値品比率を48%から60%へ引き上げ、製品競争力を強化する戦略を推進中
- ・インド・北米のトップパートナーとのインサイダー型事業拡大で、グローバル成長機会を獲得を重視

証券コード 5411

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4.54兆円営業利益率
2.5%財務健康度
31点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 63.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,228万円
鉄鋼内 1位/38社平均年齢
48.0歳
鉄鋼内 1位/38社平均勤続
23.5年
鉄鋼内 1位/38社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
鉄鋼業界における大手企業グループの持株会社

主力事業・セグメント

- ・鉄鋼 60.7%
- ・商社 26.4%
- ・エンジニアリング 12.9%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高4.54兆円の大企業
- ・平均勤続23.5年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

